

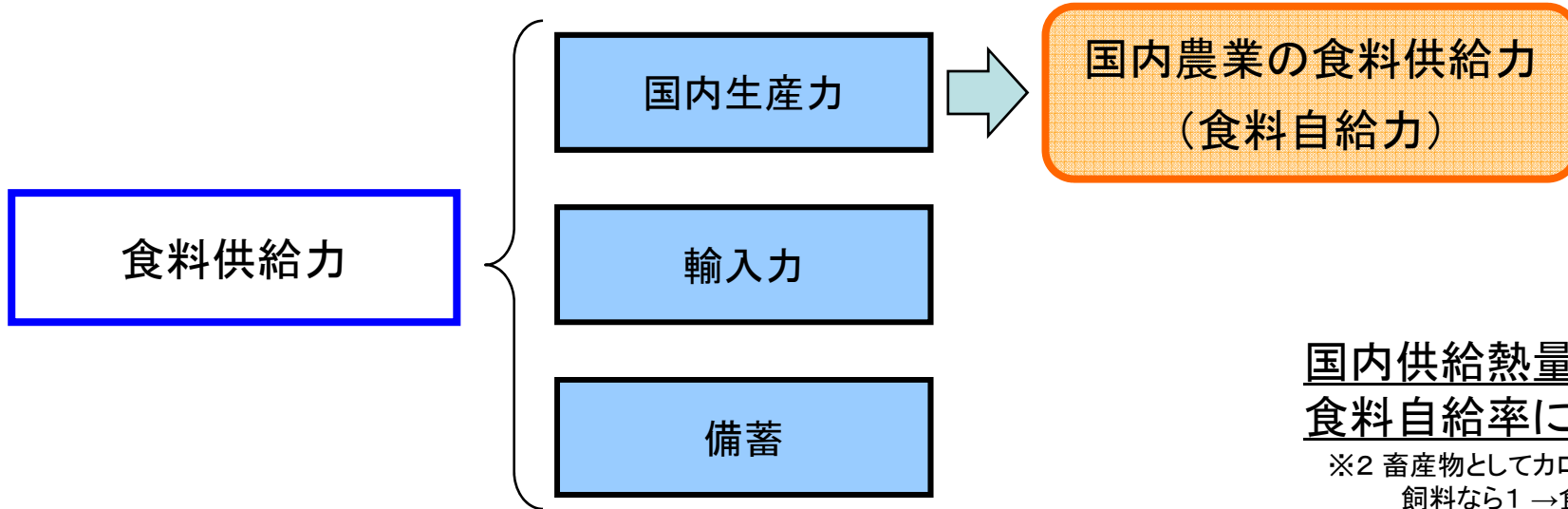
# 食料自給力の強化のための取組と 食料自給率50%のイメージ

－食料自給力・自給率工程表－

平成20年12月2日

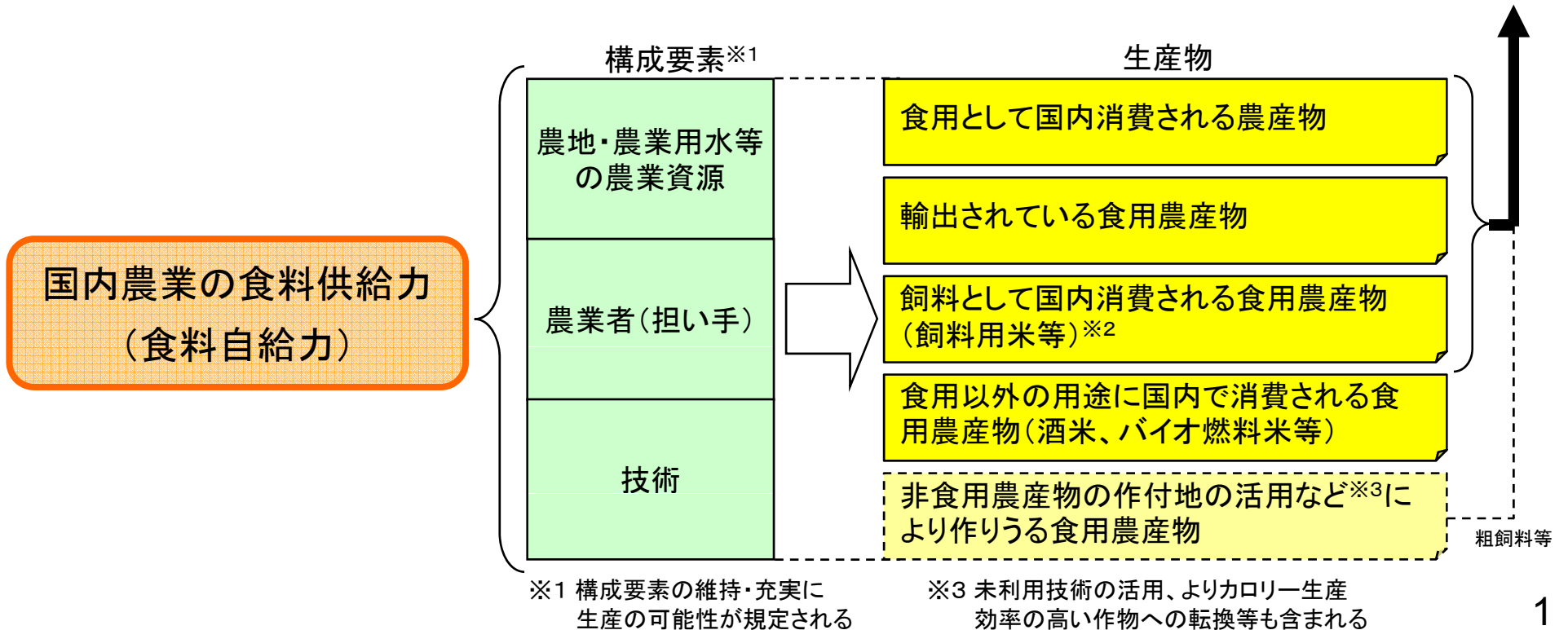
**農林水産省**

# 「食料自給力」、「食料自給率」について



国内供給熱量として  
食料自給率に評価

※2 畜産物としてカロリー算入  
飼料なら1 → 食用なら10



# 食料自給力の強化のための取組と食料自給率50%のイメージ

	平成19年度		概ね10年後	自給率向上率
米の消費拡大	61kg/人・年	→	63kg/人・年	+1.3%
米粉の生産拡大	1万トン	→	50万トン	+1.4%
飼料用米の生産拡大	0万トン	→	26万トン	+0.1%
小麦（裏作麦）の生産拡大	91万トン	→	180万トン	+2.5%
大豆の生産拡大	23万トン	→	50万トン	+1.0%
野菜の生産拡大	1,242万トン	→	1,422万トン	+0.5%
牛乳・乳製品の生産拡大 (乳牛の飼料自給率41%)	802万トン	→	928万トン	+1.5%
油脂の消費抑制 (品目別自給率13%)	14kg/人・年	→	12kg/人・年	+0.3%
その他(いも類、果実等)				+1.4%

強化する取組

基本計画に  
基づく取組

合計 +10.0%

耕地面積	465万ha	→	462万ha
耕地利用率	93%	→	110%
供給熱量	2,551kcal	→	2,480kcal

40%  
(平成19年度)

+10.0%

50%  
(概ね10年後)

## 未利用地の有効活用

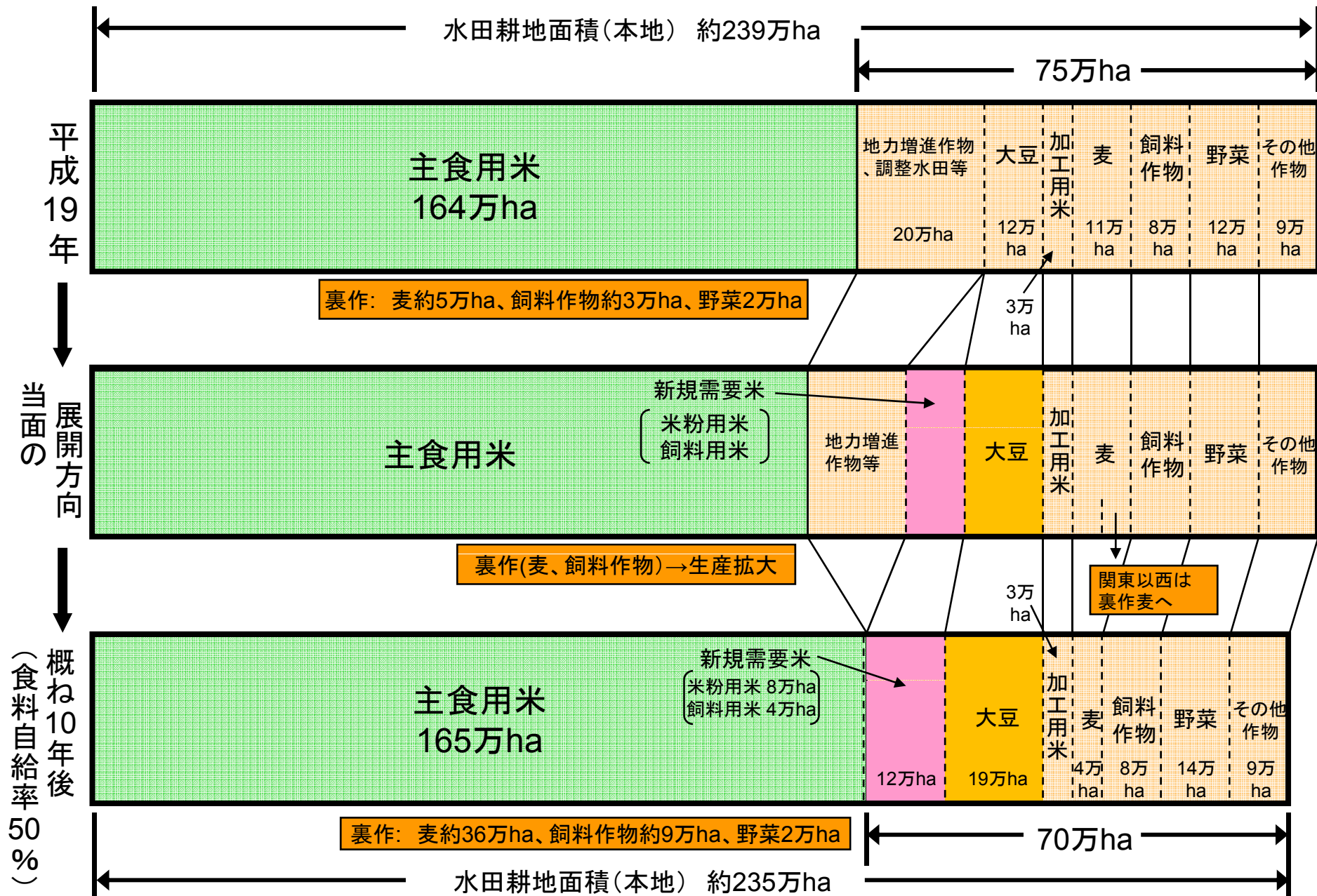
1. 耕作放棄地からの営農再開 概ね10万ha

2. 調整水田、地力増進作物作付地  
等への新規需要米等の作付 20万ha

3. 水田裏作における麦類の作付 36万ha

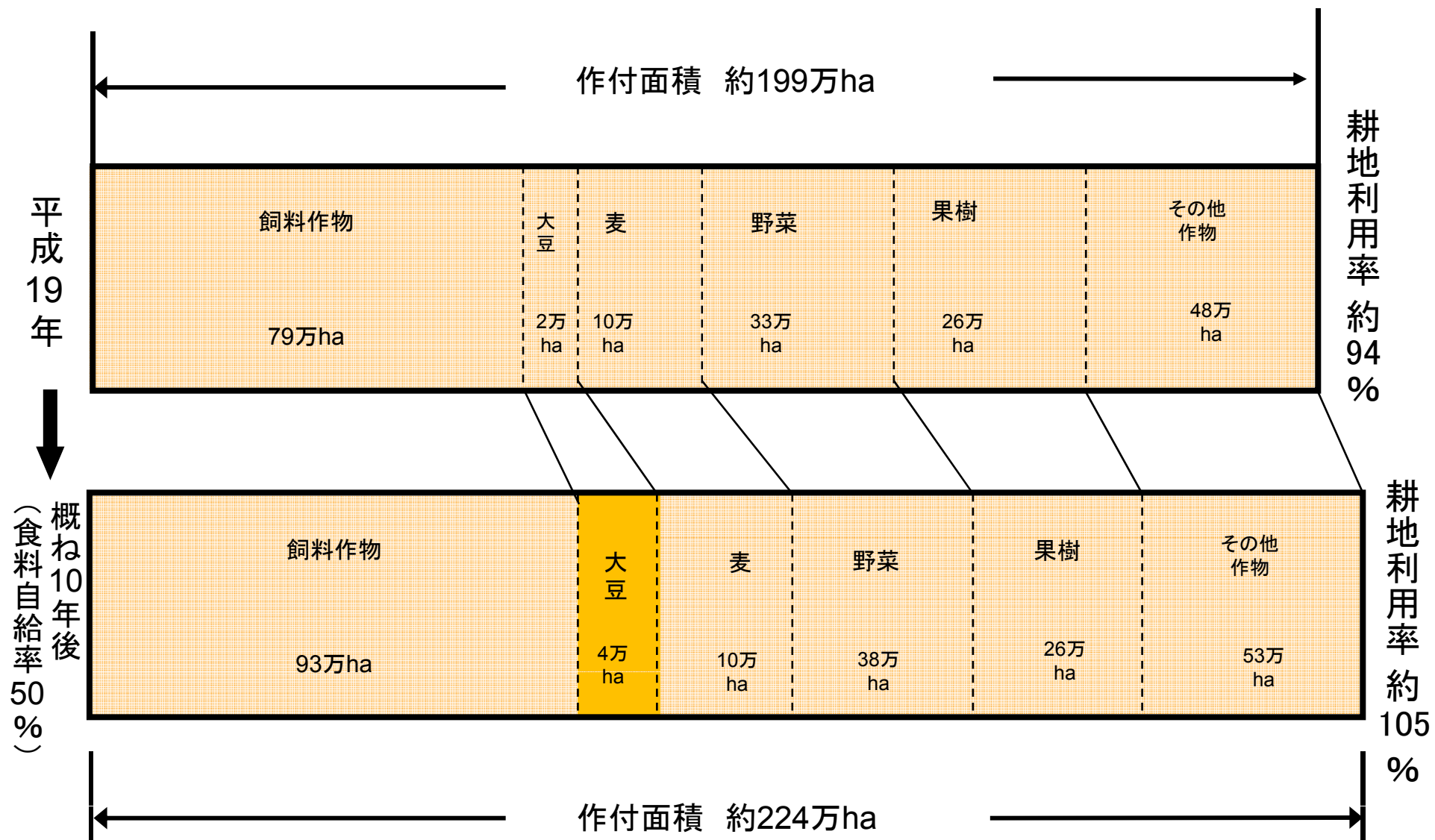
5万ha(19年度)→

# 今後の水田農業の展開方向



※野菜はばれいしよを除いた数値

# 今後の畑作の展開方向



※野菜はばれいしょを除いた数値